

・一番驚いた事

- ① 佐賀県庁からは県内の市役所の状況が把握されておらず、武雄市や唐津において県庁からの何か指示等の会話すら出で来なかった事が印象的だった。
つまり移住やロングステイに関する内容で、行政間の意思疎通が図られてないことがヒアリングを通してよくわかりました。
- ② 県庁は一旦県外に転出した県民を再度 U ターンしてもらい、税金等を確保したいことが本音であった。
武雄市は過去のロングステイの設備を拡充したものの、経験不足により、失敗したことにより、踏み込んで施策を取れない状況にあり、市の財政や県との連携もとれず、具体的な発展スタイルを模索しているようであった。
唐津は NPO 法人化により、市からの期限付きのお金の保障は得たもののいずれ自立するためにかなり積極的な施策を毎年続けている事に感動しました。
- ③ 観光担当と移住担当を区分していることにより、縦割りの意識からお互いの意思疎通が図られていない事により、行政の組織の在り方を他の都道府県がどうしているかを今後ヒアリングする必要性を感じた。

・国内ロングステイの活発化するためにはどうすればよいか？

- ① クラウドファンディングを活用し資金を確保するための施策を考える
- ② 旅行代理店ではなく、新たな NPO 法人を立ち上げるか、ロングステイ財団が中心となり、施設の予約管理とマネジメントができる組織づくりできるか？
- ③ じり貧となっているユースホステル事業に国内ロングステイの役割をユースホステルがその一部をカバーできることが可能か？
- ④ 旅行業法や不動産業法の法律を理解し、できる事、できない事をまとめ、財団、アドバイザー協会、各々のアドバイザーができる事を議論し、まとめることが重要だと感じています。

以上